



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月2日

上場会社名 アイホン株式会社

上場取引所

東 名

コード番号 6718 URL <https://www.aiphone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 康次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 和田 健

TEL 052-228-8181

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,201	△6.9	2,020	△18.3	1,975	△18.7	1,474	△22.1
2020年3月期第3四半期	34,589	6.4	2,474	74.6	2,431	67.4	1,893	50.3

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 2,320百万円 (△4.1%) 2020年3月期第3四半期 2,418百万円 (375.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	90.24	—
2020年3月期第3四半期	115.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	59,350	49,665	83.7
2020年3月期	59,024	48,178	81.6

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 49,665百万円 2020年3月期 48,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	26.00	51.00
2021年3月期	—	25.00	—		
2021年3月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,400	△8.4	2,400	△15.3	2,500	△13.6	1,800	△24.1	110.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	18,220,000 株	2020年3月期	18,220,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,877,940 株	2020年3月期	1,875,637 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	16,342,651 株	2020年3月期3Q	16,329,245 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国内外の移動制限や不要不急の外出自粛など経済活動が大幅に制限されたことで景気は急速に悪化いたしました。その後、一旦緊急事態宣言が解除されたことに伴い、個人消費は徐々に持ち直しつつあるものの、企業収益や雇用環境が悪化するなど厳しい状況が続きました。海外におきましても、感染の拡大が続く欧米を中心に、強制的な移動制限や外出制限が行われたことで景気は全世界的に大幅に悪化いたしました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、日本国内の新設住宅着工戸数は、経済の先行き不透明感による影響もあり、前年同期から減少いたしました。一方で既存のインターホン設備等の更新に対する関心は高く、一時は感染拡大防止のため工期の延期や営業活動の制限等が発生していましたが、感染予防の対策をとりつつ順次活動を再開してまいりました。海外市場におきましては、欧米の取引先において店舗等の休業措置が実施されたことで販売活動が停滞した期間があったものの、取引先とのビデオ会議や電話会議などのオンライン営業や少人数での対面打ち合わせ実施など、現在の環境に配慮した営業活動を行ってまいりました。

当社グループは、社内外への感染拡大防止のため、テレワークや時差出勤を行うとともにオンライン会議システムを活用するなど、厳しい制約がある状況の中で、従業員とその家族の安全と健康に配慮しつつ、事業活動を継続してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は322億1百万円（前年同四半期連結累計期間比6.9%減）、営業利益は20億2千万円（同18.3%減）、経常利益は19億7千5百万円（同18.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、14億7千4百万円（同22.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	会社名
日本	アイホン株式会社
北米	アイホンコーポレーション
欧州	アイホンS. A. S.、アイホンUK
タイ	アイホンコミュニケーションズ（タイランド）
ベトナム	アイホンコミュニケーションズ（ベトナム）
その他	アイホンPTY、アイホンPTE.

(日本セグメント)

国内の住宅市場につきましては、戸建住宅におきまして、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期から減少する中、上半期に引き続き新商品の販売が好調に推移し売上は増加いたしました。リニューアルでは、ワイヤレステレビドアホンの販売が新商品を含め好調に推移したことにより売上は前年同期から増加いたしました。この結果、戸建住宅市場全体としての売上は増加いたしました。

集合住宅につきましては、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期から減少し、分譲マンションにおいて販売が低迷したことにより売上は減少いたしました。リニューアルでは、賃貸マンションにおいて戦略的な営業活動により販売が好調に推移するとともに、分譲マンションにおいては新型コロナウイルスへの感染懸念から納入が延期されていた案件が再開され、第3四半期の販売としては前年同期を大きく上回る結果となりました。しかしながら、上半期の大幅な減少分を補うには至らず、売上は減少いたしました。この結果、集合住宅市場全体としての売上は減少いたしました。

ケア市場につきましては、新築では病院、高齢者施設、高齢者住宅のいずれの販売も上半期に引き続き好調に推移し、売上は増加いたしました。また、リニューアルでは、新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい市況が継続する中、戦略的に推進してきたソリューション営業や保守サービス活動が功を奏し、売上の減少幅は上半期に比べ縮小いたしました。この結果、ケア市場全体としての売上は増加いたしました。

これらの結果、売上高は286億6千7百万円（前年同四半期連結累計期間比8.1%減）となりました。なお、営業利益につきましては経費削減に努めたものの売上高減少の影響が大きく10億4千1百万円（同46.2%減）となりました。

(北米セグメント)

アメリカの販売子会社であるアイホンコーポレーションにつきましては、第2四半期以降においては市況が回復傾向となり、スモールオフィス案件を中心にW i - F i 対応テレビドアホンやワイヤレステレビドアホン等の販売が好調に推移したものの、第1四半期の経済活動制限による売上の大幅な減少や、業務市場における学校案件や政府系案件の出件が停滞したことなどが影響し、売上は前年同期から減少いたしました。

これらの結果、売上高は47億5千万円（前年同四半期連結累計期間比17.5%減）となりました。なお、営業利益につきましては経費削減等もあり3億4百万円（同70.8%増）となりました。

(欧州セグメント)

フランスの販売子会社であるアイホンS. A. S. につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による外出制限措置等の規制が緩和された第2四半期以降において、戸建住宅向けのW i - F i 対応テレビドアホンを中心に積極的な営業活動を行ったことにより販売は好調に推移いたしました。しかしながら、第1四半期の経済活動制限による売上の減少幅が大きく、売上は前年同期から減少いたしました。

イギリスの販売子会社であるアイホンU K につきましても、第2四半期以降においては市況に回復の兆しが見られ、スモールオフィスを中心としてW i - F i 対応テレビドアホン等の販売が好調に推移したものの、第1四半期の経済活動制限による売上の減少により、売上は前年同期から減少いたしました。

これらの結果、売上高は24億8千5百万円（前年同四半期連結累計期間比7.0%減）となりました。なお、営業利益につきましては経費削減等もあり8千9百万円（同396.7%増）となりました。

(タイセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（タイランド）は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しておりますが、第1四半期に新型コロナウイルスの感染拡大により部品調達の一部に遅延等が発生し、製品の供給量は減少いたしました。当社グループ間で部品調整等を行うことで生産は維持いたしましたが、売上高は52億6千3百万円（前年同四半期連結累計期間比11.0%減）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり2億9千万円（同43.3%増）となりました。

(ベトナムセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（ベトナム）は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しております。日本等で生産しておりました製品の一部を生産移管したことにより、売上高は32億3千3百万円（前年同四半期連結累計期間比30.3%増）、営業利益は1億5千1百万円（同33.7%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない販売子会社といたしまして、オーストラリアの販売子会社であるアイホンP T Y につきましては、I P ネットワーク対応インターホンシステムやW i - F i 対応テレビドアホンの販売が好調に推移いたしました。しかしながら、集合住宅向けシステムにつきましては回復基調にあるものの、新型コロナウイルスの影響から販売が低迷し、売上は前年同期から減少いたしました。シンガポールの販売子会社であるアイホンP T E. につきましても、新型コロナウイルスの影響から、主力となる集合住宅向けシステム及び業務市場向けシステムの案件において工期延期等が相次ぎ、売上は前年同期から減少いたしました。

これらの結果、報告セグメントに含まれない販売子会社におきましては、売上高は6億2千万円（前年同四半期連結累計期間比10.1%減）、営業利益は3百万円（同89.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

業績の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は593億5千万円（前連結会計年度末590億2千4百万円）となり3億2千6百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が16億6千7百万円増加、売上債権が8億9千4百万円減少、現金及び預金が6億1千8百万円減少したことによるものです。

負債は96億8千5百万円（前連結会計年度末108億4千5百万円）となり11億6千万円減少いたしました。これは主に、未払費用が17億3千6百万円減少、仕入債務が7億4千3百万円増加したことによるものです。

純資産は496億6千5百万円（前連結会計年度末481億7千8百万円）となり14億8千6百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が7億2千5百万円増加、利益剰余金が6億4千1百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では2020年11月25日付「2021年3月期通期連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,100	17,482
受取手形及び売掛金	9,371	7,981
電子記録債権	2,087	2,582
有価証券	897	497
製品	4,289	4,423
仕掛品	1,563	1,926
原材料	3,378	4,017
その他	353	323
貸倒引当金	△75	△30
流動資産合計	39,967	39,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,047	6,037
減価償却累計額	△4,225	△4,334
建物及び構築物（純額）	1,821	1,702
機械装置及び運搬具	2,123	2,314
減価償却累計額	△1,173	△1,322
機械装置及び運搬具（純額）	949	992
工具、器具及び備品	7,265	7,410
減価償却累計額	△6,407	△6,633
工具、器具及び備品（純額）	858	776
土地	4,993	4,991
リース資産	278	346
減価償却累計額	△121	△142
リース資産（純額）	157	204
建設仮勘定	29	17
有形固定資産合計	8,809	8,683
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	6,599	8,267
繰延税金資産	2,189	1,821
その他	1,458	1,373
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,247	11,462
固定資産合計	19,056	20,145
資産合計	59,024	59,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	435	993
買掛金	1,326	1,512
リース債務	91	90
未払法人税等	451	34
製品保証引当金	431	690
賞与引当金	—	550
その他	5,432	3,048
流動負債合計	8,168	6,920
固定負債		
リース債務	90	104
再評価に係る繰延税金負債	118	118
退職給付に係る負債	535	577
その他	1,932	1,963
固定負債合計	2,677	2,764
負債合計	10,845	9,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,408	5,408
利益剰余金	39,198	39,840
自己株式	△3,216	△3,216
株主資本合計	46,779	47,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,576	2,301
土地再評価差額金	△426	△426
為替換算調整勘定	401	455
退職給付に係る調整累計額	△153	△86
その他の包括利益累計額合計	1,398	2,244
純資産合計	48,178	49,665
負債純資産合計	59,024	59,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	34,589	32,201
売上原価	18,822	17,579
売上総利益	15,767	14,621
販売費及び一般管理費	13,293	12,601
営業利益	2,474	2,020
営業外収益		
受取利息	30	18
受取配当金	135	136
受取家賃	38	37
その他	33	71
営業外収益合計	237	263
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	182	178
為替差損	54	50
その他	37	73
営業外費用合計	280	308
経常利益	2,431	1,975
特別利益		
固定資産売却益	13	0
投資有価証券売却益	41	—
特別利益合計	55	0
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	0	2
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益	2,481	1,973
法人税等	587	498
四半期純利益	1,893	1,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,893	1,474

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,893	1,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	725
為替換算調整勘定	138	54
退職給付に係る調整額	45	66
その他の包括利益合計	525	845
四半期包括利益	2,418	2,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,418	2,320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	25,503	5,729	2,670	—	—	33,903	685	34,589	—	34,589
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,675	27	1	5,916	2,481	14,102	3	14,106	△14,106	—
計	31,178	5,757	2,672	5,916	2,481	48,006	689	48,695	△14,106	34,589
セグメント利益	1,935	178	17	202	113	2,448	30	2,478	△4	2,474

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	24,367	4,730	2,484	—	—	31,582	619	32,201	—	32,201
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,299	19	1	5,263	3,233	12,817	0	12,818	△12,818	—
計	28,667	4,750	2,485	5,263	3,233	44,399	620	45,019	△12,818	32,201
セグメント利益	1,041	304	89	290	151	1,878	3	1,881	139	2,020

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。